

人文・社会科学系研究を振興する ファンドとその支援

～これからの社会を共創する人社系研究のために～

SDGsの達成やAI社会、超高齢化社会への対応など、これからの社会におけるイノベーションを実現するためには、人文・社会科学（人社）系研究者の参画、連携が不可欠であると、世界的にも言われています（2013年のEUビルニウス宣言など）。この流れをより促進するため、一部で人社系研究を育成・振興するファンドが大規模（例えば欧州Horizon2020の人社振興のプログラムなど）、小規模（例えば大学内の独自ファンドなど）に導入されてきています。しかしながら、その期待に反して、人社系研究者のニーズとは異なる、人社系研究者の参画が不十分、自然科学系と人社系研究間の連携が進まない等の課題が指摘されています。

そこで本フォーラムでは、これからの社会における人社系研究を支援し、より多くの活躍やアウトプットを期待する政策、プログラム、支援策など、ファンド施策のあり方について、行政、研究者、URAなどを集めて議論を行おうと思います。特にプログラム設計上流での領域設定、期待する成果、評価指標、有識者や評価者の育成、FAとURAの連携など様々な観点を網羅したいと考えます。

基調講演、情報提供セッションを通じて、国や地域が行うトップダウン的な、または大学が導入するボトムアップ的なファンド施策の事例を聞いた上で、パネルディスカッションの場で、日本の特徴を踏まえたこれからの人文・社会科学系研究の振興について議論を深めたいと思います。

2019 3/19 火

13:00 - 17:30

早稲田大学
国際会議場会議室

(受付開始：12:00)

定員 100名（要事前申込・先着順）

対象 研究者、URA等大学・研究機関職員、
省庁関係者、助成団体関係者等

言語 日・英（同時通訳あり）

参加費 無料（情報交換会は会費制：4,000円）

申込み ウェブサイトよりお申込みください。
ポスター発表も募集いたします。



<https://www.waseda.jp/inst/research/news/67607>

主催  早稲田大学 研究戦略センター

共催 大阪大学経営企画オフィス研究支援部門、
京都大学学術研究支援室、筑波大学URA研究
戦略推進室 /ICR、琉球大学研究推進機構研究
企画室



お問合せ 早稲田大学研究戦略センター
Email: jinsha2019@list.waseda.jp

プログラム

13:00 開会挨拶 田中愛治（早稲田大学総長）
来賓挨拶 千原由幸（文部科学省大臣官房審議官
（研究振興局及び高等教育政策連携担当））

13:10-13:15 趣旨説明

13:15-14:15 基調講演

「欧州における人社系研究を振興するファンドとその支援」
トム・クチンスキ（駐日欧州連合代表部科学技術アドバイザー）
オルガ・グリツァイ（アムステルダム大学研究資金アドバイザー）

14:15-15:30 情報提供セッション

（国の政策情報と各大学によるファンド施策の事例紹介）

春山浩康（文部科学省研究振興局振興企画課学術企画室長）
前田知子（科学技術振興機構研究開発戦略センターフェロー）
＊各大学によるファンド施策の紹介（1分間紹介）
＊ポスターセッション

15:30-17:20 パネルディスカッション

盛山和夫（日本学術振興会学術システム研究センター副所長）
津田博司（科学技術振興機構社会技術研究開発センター企画運営室長）
西尾チヅル（筑波大学ビジネスサイエンス系教授）
日野愛郎（早稲田大学政治経済学術院教授）
トム・クチンスキ（駐日欧州連合代表部科学技術アドバイザー）
オルガ・グリツァイ（アムステルダム大学研究資金アドバイザー）

17:20-17:30 閉会挨拶 小林哲則（早稲田大学研究戦略センター所長）

18:00-20:00 情報交換会

人文・社会科学系研究推進フォーラムとは

人社系の研究にかかわる研究者や URA、事務系職員等が、よりよい研究推進のあり方をともに議論し、ともに行動することを目指して、2014年に発足しました。フォーラムは開催校を中心に、各大学の人社系担当 URA の有志グループが企画と運営を担っています。

講演者・パネリスト プロフィール



トム・クチンスキ

駐日欧州連合代表部科学技術アドバイザー。博士（経済学）（広島修道大学）。2006年より2012年まで在日ポーランド大使館一等書記官として、科学、工学、イノベーション、エネルギー、気候変動問題等を担当。2012年より現職。日-EU間の連携研究の振興を担っている。



オルガ・グリツァイ

アムステルダム大学研究資金アドバイザー。博士（社会地理学）。特に社会科学と人文学の両分野で研究資金獲得に貢献。EARMA（欧州の URA 協議会）の国際関係委員会の委員を拝命。長年、日本の研究者との共同研究を支援し、相互に関連する課題の共同セッションを企画するなど日本との関係が深い。



盛山 和夫（せいやま かずお）

日本学術振興会学術システム研究センター副所長、東京大学名誉教授。博士（社会学）。専門は社会学。数理モデルや計量分析を用いて理論社会学の探求に携わる。主な著書に、『制度論の構図』、『社会階層一豊かさの中の不平等』（共著）、『リベラリズムとは何かーロールズと正義の論理』など。



津田 博司（つだ ひろし）

科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）企画運営室長。1992年新技術事業団（現 JST）入職。国際事業、基礎研究及び産学連携事業、パリ事務所等での勤務を経て、2011年より現職。社会問題の解決に向け、自然科学と人文社会科学の知見を活用し、社会のステークホルダーとの協働による研究開発を支援。



西尾 チヅル（にしお ちづる）

筑波大学ビジネスサイエンス系教授、日本学術会議第一部会員。博士（工学）。専門はマーケティング。市場を構成する消費者の態度や行動のメカニズムの解明と企業のマーケティング戦略、特に、環境問題や社会的課題との共生をめざしたマーケティングのあり方に関する研究に取り組む。



日野 愛郎（ひの あいろう）

早稲田大学政治経済学術院教授。Ph.D（Government）（エセックス大学）。専門は選挙研究、比較政治学。民主主義諸国の選挙過程、特にヨーロッパ諸国を中心に新興政党が台頭する要因について研究。最近では、アイトラッカー（視線測定器）を用いた世論調査の方法論などについても共同研究を進める。

アクセス

東京都新宿区西早稲田 1-20-14

早稲田キャンパス 総合学術情報センター（18号館）3階 国際会議場

◇ 東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩 5分

◇ 東京さくらトラム（都電荒川線）早稲田駅から徒歩 5分

◇ JR 山手線・西武新宿線 高田馬場駅より徒歩 20分

◇ 都バス [学 02]（学バス）（高田馬場駅一早大正門）

お問い合わせ：早稲田大学 研究戦略センター

Email jinsha2019@list.waseda.jp

URL <https://www.waseda.jp/inst/research/news/67607>

